

シリア国節水灌漑農業普及計画技プロ

(調査期間：2005 年 3 月～36 ヶ月、担当業務：研修／普及／農村社会)

調査背景

乾燥地域に属するシリア国においては農産物を安定的に生産するためには灌漑農業が不可欠であるが、近年の急激な灌漑面積の増加が限られた水資源に過大な負荷を与え、水不足の危機に陥っている。そのため、国内水需要の 80%以上を消費している農業部門での水の効率的利用が強く求められている。シリア国政府は、2000 年から 2004 年までにすべての伝統的表流灌漑法をスプリンクラーおよびドリップ灌漑といった近代的な節水灌漑法に転換する方針を打ち出した。しかしながら、灌漑面積約 120 万 ha のうちスプリンクラーおよびドリップ灌漑法の導入面積は、それぞれ約 16 万 ha および 5 万 ha に留まり、農家圃場への節水灌漑機器の導入は遅れている。このような状況の下、シリア国政府は農業農地改革省自然資源研究所及び農業普及局を実施機関として、「節水灌漑農業普及技術協力プロジェクト」の実施を要請した。

調査概要

節水灌漑に関しては、農民が灌漑機器の適切な使用方法を知らないこと、それを指導する普及員の知識や能力が不足していること、及び農民に対する普及活動が十分に行われていないこと等が課題である。したがって本プロジェクトの活動内容は、展示圃場設置による適切な灌漑施設の紹介、農業普及員の研修及び農民への普及活動が主なコンポーネントとされた。普及員研修に関しては、農家が抱えるニーズの把握ならびに灌漑施設や農家経営の適正な診断ができる普及員の育成を目指した。農民に対する普及活動では、研修を受けた普及員が現場のニーズに基づいて研修成果を活かしつつフィールド・デイやセミナー等さまざまな手法による普及活動を計画し、実施を通して経験を積むこととした。

担当事項

- 既存の研修普及活動に関する資料・情報の収集及び解析
- 展示圃場サイトの選定及び展示圃場の計画策定
- 研修ニーズの把握とそれに基づいた研修カリキュラム及び教材の作成
- 研修実施マニュアルの取りまとめと上記に基づいた研修活動の実施
- 研修を受けた普及員による普及活動実施の支援
- 普及材料（パンフレット・ポスター等）ならびに普及活動マニュアルの作成

